

令和元年度 第1回 青梅市健康増進計画推進会議要録（概要版）

- 1 日時 令和元年7月1日（月） 午後1時30分から
- 2 場所 健康センター1階 相談・指導室
- 3 出席委員
 (委員) 大木委員・土田委員・本間委員・岩浪委員・菊池委員・宮口委員
 野村委員・永井委員
 (事務局) 齋藤健康福祉部長、丹野健康課長、齋藤健康推進係長、楯島母子保健係長、
 塩野特定健診係長、久保健康課主査、山久健康推進係主任、
 若林健康推進係主任
 株式会社アイアールエス 牧野主任研究員
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容（概要）

発言者	会議概要
健康課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、本日はお忙しいところ、御出席いただきありがとうございます。定刻前ではございますが、「第1回健康増進計画推進会議」を開催させていただきます。</p> <p>なお、東京都西多摩保健所の小林委員につきましては、欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>お手元にお配りしてございます次第に従いまして、会議を進めさせていただきたいと存じます。概ね、3時閉会を目途に進行をさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、議事に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 …青梅市健康増進計画 各課取組状況一覧 ・資料2 …項目別件数一覧 ・資料3 …市民意識調査結果 ・資料4 …東京都健康推進プラン21（第二次）との骨子比較 ・資料5 …第4次青梅市健康増進計画策定スケジュール ・資料6 …青梅市自殺総合対策計画 各課取組目標一覧

健康課長	<p>2 あいさつ</p> <p>それでは、次第の「2 あいさつ」といたしまして、健康福祉部長の齋藤より御挨拶申し上げます。</p>
健康福祉部長	<p>皆様こんにちは。健康福祉部長の齋藤でございます。本日は公私とも御多忙のところ、令和元年度第1回目の青梅市健康増進計画推進会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。また、昨年度は自殺総合対策計画の策定にあたりまして、委員の皆様には御協力いただき誠にありがとうございました。この計画書につきましては、市議会議員の方や関係機関に配布をすることができました。重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて、この会議でございますが、青梅市の健康づくりに関する施策について検討し、青梅市健康増進計画の見直しおよび円滑な推進を図るために平成23年度に設置しているところでございます。</p> <p>また、現在の第3次計画でございますが、今年度が最終年度にあたります。これまで市が取り組んできました、健康寿命の延伸、各種検診の受診率向上について検証を行ってまいりたいと考えております。こうした中で、直近の高齢化率を見ますと、29.88%となっております。近い将来3人に1人が高齢者になるという推測をされております。健康の維持・増進やフレイルを含めた介護予防に向けた取り組みが益々重要になってくると考えております。</p> <p>本日の会議では、平成31年2月に実施した市民意識調査の結果報告等をさせていただきます。委員の皆様におかれましては、専門的なお立場から、次期健康増進計画の策定に向けまして、忌憚のない御意見をくださいますようお願いいたします。</p> <p>また、この計画につきましては、健康と密接に関係している食育に関する計画と一体的に策定を進めていきたいと考えております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>3 議題</p> <p>－(1)青梅市健康増進計画にもとづく各課取組状況調査の結果について－</p> <p>今年度は計画改定が控えておりますので、積極的な御意見をいただきたいと思います。この会議は公開会議となっておりますが、本日は傍聴者がいないので、このまま議事に入らせていただきます。</p> <p>はじめに、「(1)青梅市健康増進計画にもとづく各課取組状況調査の結果について」事務局より説明をお願いいたします。</p>

事務局	～資料1、2について説明～
会長	平成30年度の取り組みで、各担当課からの報告をまとめた資料ですが、何か御質問・御意見ありましたらお願いします。
委員	この資料の内容は、計画書の内容と関連しているのでしょうか。各課で行った取り組みの結果どうなったかということがわからないと意味がないと思います。
会長	計画等取り組み状況との関連は、計画に書かれている取り組みの各分野ごとに、市の中の課がそれぞれ何に取り組んだのか、計画の分野ごとにこれが示されています。今日の資料1と2は、何をやったかというよりは、市が実施をした取り組みに関しての報告なので、その結果市民の健康の状況がどのように変わったかの評価ではありません。市役所でどれだけ取り組んだか、なので、結果はこの資料では示されていません。
事務局	この資料だと、各担当課が何をしたかの報告でしかなく、一步踏み込んで何を反省して今後何をしていくかはこの資料では示されていません。
委員	歯に関する意見なのですが、歯磨剤にフッ素が入っていますが、テレビを見たら、歯を磨いたらそのままが良いそうです。口をゆすぐとせっかくのフッ素が取れてしまうようです。そういう歯を守る方法も考えないと、食べ物を食べられなくなると思います。
会長	ブラッシングについての御意見でした。高齢者の歯科検診も始まったと思うんですが、市の状況はいかがですか。
委員	周知が行き届かなかったこともあり、思った以上に受診件数は伸びなかったですが、最初の年度とすれば良い数値が出たと思います。それをさらに広げていければと思います。 フッ素については、フッ素をどれだけ体に残せるか、口をゆすぐとフッ素が薄まるので、歯自体にフッ素を直接塗るというよりも、体全体でフッ素が含まれる量を増やしていければいいと思います。歯磨剤自体もそれほど高濃度のフッ素ではないので、あまり濃度を増やしすぎると弊害が出ると思います。効果的にあまりゆすがない方がいいと今はなっていますが、フッ素入りの歯磨剤を使用するよう指導が変化しています。子どもと高齢者は指導する機会がある

	<p>が、歯科医師会としては、若年層の成人の検診をもう少し増やしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>26 番について、スポーツ推進課が、備品の更新や広報掲載による周知等を行ったとして評価を4としていますが、新しい備品を入れたから評価が4になったのではなく、新しい物を入れて利用者がどう伸びたのか、利用者の体力がどう上がったのか、そういう事が無ければならない。ただ単に備品を新しくしただけではなく、評価に表れるような事をスポーツ推進課で考えなければならないと思う。</p>
健康課長	<p>スポーツ推進課から庁内連絡会議の中でも説明がありましたが、この機器の更新が年度末になっており、そこの実績が出せませんでした。備品を入れるには市としても相当の労力が必要となるなかで、備品を入れることができたことを評価させていただきました。利用者は徐々に増えているという話は聞いております。</p>
委員	<p>55 番の高齢者温泉保養利用施設助成は、利用者数を前回と比較して評価しているのですか。</p>
健康課長	<p>市が施設数を増加できた点を評価させていただきました。今年度以降は、施設の利用を周知して利用者数を伸ばしていきたいと思っております。</p>
委員	<p>これは継続的にということですか。</p>
健康課長	<p>そうです。</p>
会長	<p>会議の度に毎回この資料が出ますが、多分市役所は、事業が廃止する決定がない限り実施はされていて、今の評価基準だと実施された時点で評価は3になっています。これだけの事業を市の中で実施されている事はとても大切な情報だと思いますが、それぞれの事業に各担当課が、この事業目標を作って予算化されていると思います。その目標が達成されたのかを示した方が、評価としては分かりやすいのではないかと思います。多くの課が関わる事なので、庁内でも議論していただけると良いと思います。</p>
委員	<p>2 番について、目標ではたくさん書いてあるのもっと実績数値が上がると思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>今後の課題として、実施目標というよりも、事業の狙いを示していただいた方がよいのではないかと思います。</p> <p>46 番のこころの健康づくりについて、虐待の話が出ていますが、虐待の問題はなかなか対策が功を奏せず深刻になる一方で、とても重要だと思いますが、この問題はこころの健康のところでのいいのでしょうか。メインは、子ども子育て支援計画の方で書き込まれている内容だと思います。健康増進計画の方で触れる時に、虐待問題が単にメンタルヘルスの問題だけではないはずなので、もし健康増進計画の中で子育て世代のメンタルヘルスの問題を取り上げるとしたら、虐待死亡の中で毎年「産後うつ」のお母さんによる無理心中という事例が必ず発生しているので、産後うつの周知、理解が必要です。パートナーが産後うつを知らなくて対応が遅れる事が死亡事例の背景になっています。東京都も今年から、父親用のガイドブックの中に産後うつの現状を追加しているので、どのように周知が進んでいくかを見ていただきたいと思います。</p>
<p>健康課長</p>	<p>子ども家庭支援課については、具体的なまとめには記載がありませんが、評価の理由としては、この問題等の対応の為に保健師を一人増やしたことが最大の理由であります。増やしたことにより、色々な対応が徐々に多く出来るようになりました。産後うつに関係につきましては、健康課の対応となり、昨年10月から産後ケア事業や産後うつ対策の取り組みを始めました。今後健康課の事業の中で記載を検討したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>－ (2) 市民意識調査の結果について－ 続いて「(2) 市民意識調査の結果について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～資料3について説明～</p>
<p>委員</p>	<p>5 ページの問3と問4の表が同じだと思いますが。</p>
<p>事務局</p>	<p>問4は、「あなたの住まいの地区をお答えください」という質問でしたので、これは間違いでございます。失礼致しました。</p>
<p>委員</p>	<p>この市民意識調査は直近の数字でとても分かりやすく参考になりますが、健康増進計画に記載するだけで他に掲載の予定はないのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>インターネットでも掲載します。</p>

会長	調査結果自体も報告書のようなかたちで掲載されますか。
事務局	掲載します。
委員	資料3の評価について、AからDの評価の平均を出すと、市民意識調査をした結果、Dの「悪くなっている」が一番多かった。せっかく調査をやっているのに悪い結果が出ている事をどう思っているのでしょうか。
会長	今回は指標全体で必ずしも改善していない項目があるので、そこをどうするかは、次の計画に何を盛り込むかとして大事な議論になると思います。
委員	Dの数値として一番多いところは(6)の健康診断受診率で、一番大事なところでDとして数字で表れているので、今後力を入れていかなければならないと思います。
事務局	がん検診のお知らせを今年度は全戸配布を行い、がん検診の受診率の向上対策として取り組んでいます。大体横ばいの状況であります。
委員	私達の組合は高齢者がほとんどいない組合です。個人でやっている受診率がどんどん下がっている。何とか改善していかなければならない課題であります。特に若い世代が全然健康に関心が無く、定年退職した世代から健康意識が強く受診率が急に上がります。若い世代の受診率を上げようと常思っていますが、なかなか対策が出ないので苦労しています。
会長	公表するデータは全体のまとめのデータになると思いますが、各項目をもう少し年代別に分けたものを作り、過去のものと比較出来ると、どこがターゲットゾーンなのかが明確になるのではないかと思います。
委員	健康まつりをやっていますが、例年必ず来るのはお年寄り、本当にアピールしなければならないところはもっと若い世代だと思っているので、若い世代をターゲットとしてやらないといけないと思います。
委員	福岡県の医師国保は、特定健診を3年続けて行くと、保険料が下がり、逆に健診を2年続けて行わないと保険料が上がるシステムをとっています。それを真似するのはなかなか難しいと思いますが。

委員	<p>21 ページ以降について、質問事項が漠然としているので、もっと具体的に聞いた方がいいと思います。災害が起きた時に、要支援者の救出をしなければならないのに、地域の人が信用できないと救出は出来ません。集団で生きているので、そのような取り組みを考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>問 49 から問 54 は、「ソーシャルキャピタル」の評価指標として、この質問項目になっています。全国データとの比較ができ、全国と比べると若干青梅市は高い方だと思います。今後下がる心配はありますが、青梅市ではこれが初めてのデータなので、今後は継続的に見ていく事が大切だと思います。高齢期の健康については地域の繋がりが断然影響しているので、地域の中で顔が見える関係になっていくためにはどうしたらいいのかが重要だと思います。</p> <p>また、3 ページの一番下、自分が健康だと思う人の割合については、高齢期の方は多少薬を飲んでいたり、血圧が高かったり持病があっても、自分が健康だと思う人の方が生存率は高いというデータが出ています。若い世代は必ずしもこれが反映しないので、この指標が有効なのは高齢期であり、ここは年代を分けて見た方がいいと思います。</p>
委員	<p>生活習慣病に関する項目は年代がかなり大きく影響すると思います。年代の切り方によって大きく変化するかもしれませんが、特に働いている世代では全然違う数字が出るかもしれないので、面白いデータになるのではないのでしょうか。ターゲットの年代がはっきり分らないと、次の時に何をやればいいのか分らないと思います。</p>
委員	<p>21 ページから 23 ページの地域との繋がりに関して、私が住んでいる河辺 6 丁目は 3 千人くらい住んでいますが、その 8 割が地区外の人で 2 割が青梅生まれの人です。信用出来るかという以前に、話をしない、長く住んでいても挨拶もしない、という地域の現状を理解していただきたいと思います。</p>
会長	<p>公表するかは別として、住まいの地区も聞いているので、地区ごとの地域に対する繋がりが意識については、町会長さんは参考になると思います。コミュニティの構造が変化し、青梅市は急速に高齢化が進行しており、ベッタウンでマイホームを求めて子育てをした転入組が、ここで一気に高齢者になっていく世代であり、その世代が地域とあまり繋がりが無いので、今後の課題になっていくと思います。</p>

会長	<p>－ (3) 第4次青梅市健康増進計画の骨子について－</p> <p>続いて「(3) 第4次青梅市健康増進計画の骨子について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～資料4について説明～</p>
会長	<p>次回の会議に盛り込んでほしい事を出していただき、次回の骨子案のところでそれを整理したものを御提示いただければと思います。</p>
事務局	<p>少し話が戻りますが、市民意識調査の結果を見ると、女性の若い世代の喫煙率が上がっているのが気になります。</p>
会長	<p>アンケートそのものが無作為抽出で年齢も分けていますが、若い世代の回収率が非常に悪く、悪い中でその人が喫煙をしていると、パーセンテージが上がってしまう傾向があります。</p>
委員	<p>女性の喫煙率は上がっていますが、環境的にも整備が進んでいますので、環境整備についても御検討いただきたいと思います。</p>
会長	<p>アンケートの取り方を工夫した方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>また、アンケート結果がどのように反映しているかがよくわかりません。</p>
事務局	<p>次の会議で3次計画の評価を示していただけると、次の課題の議論がしやすいと思います。</p>
会長	<p>FAXのフォーマットを作成しますので、何かあればご記入いただき返信していただきたいと思います。</p> <p>「障がいを持った方の運動」、「地域のつながり」、「壮年期の検診受診率」、「喫煙・飲酒の問題」、「高齢者の口腔」等は、繰り返し議論になっていたもので、施策を次期計画に含めるかを御検討いただきたいと思います。他に何かありましたら事務局の方に報告をお願いします。</p>
会長	<p>－ (4) 今後のスケジュールについて－</p> <p>続いて「(4) 今後のスケジュールについて」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～資料5について説明～</p>

会長	<p>計画策定の途中で委員が変わるのはどうなのでしょう。計画の策定期間は決まっているので、任期をどこかで調整していただけるといいと思います。</p>
会長	<p>－ (5) 青梅市自殺総合対策計画にかかる各課の取組について－ 続いて「(5) 青梅市自殺総合対策計画にかかる各課の取組について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～資料6について説明～</p>
委員	<p>資料6の34(1) 子ども・若者に対する支援について、平成30年11月15日に青梅一中で自殺があり、市の対応が甘いと批判されましたが、こういう事にならない為にしっかり取り組んでもらいたいです。</p>
委員	<p>時々、「昔はいじめがなかった」という話が出ますが、昔はいじめがあっても自殺する子はいなかったと思います。今は生活環境が変わり、小さい事でも気にする子が増えてきているということだと思います。</p>
会長	<p>子どもが親と一緒に食事をしている家族と、子どものメンタルヘルスの相関があったり、地域社会と家族機能の変化もかなり影響していると思います。学校だけでは取り組みきれないところもあるので、地域の繋がりが大事になってきていると思います。自殺はどれも防げる死亡なので、世代に関わらず皆で取り組まなければならないと思います。</p>
健康課長	<p>5 閉会</p> <p>本日は、貴重な御意見をたくさんいただき大変ありがとうございます。次期計画については、皆様からいただいた意見をもとに、今年1年かけて作成していきたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。長時間にわたり御協議いただきありがとうございました。次回の会議につきましては、8月下旬で調整させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">終了</p>